

令和2年2月5日付【日本下水道新聞】
関東支部 下水道事業座談会
〈広域化・防災等の事例共有〉

広域化・防災
等の事例共有

水コン協関東支部
下水道事業座談会

全国上下水道コンサル
タント協会関東支部（支
部長 菅伸彦オリジナル
設計社長）は1月31日、
都内で第33回下水道事業
座談会を開催。「各事業
体が抱える課題及びその
取組事例」をテーマに1
都8県および国土交通省
関東地方整備局、JSD日
本下水道事業団事業統括
部、同事業団東日本設計
センターの担当者らと、
同支部幹部らが集まり、
意見交換を行った。

冒頭あいさつで菅支部
長は「平成30年西日本豪



菅支部長

雨などの災害を受け、今
年度は当初予算に加え
て、3カ年の緊急対策に
かかわる経費が計上さ
れ、例年のない増額予算
となった。令和2年度ま
での3カ年で下水道浸水
対策、地震対策などの国
土強靱化政策が進められ
ている」と昨今の情勢を
総括しつつ、「出席各位よ
り広域化・共同化から災
害対応などについて、活
発な議論を行いたい」と
述べた。

議事では、国交省が令
和2年度下水道事業予算
の概要を解説。意見交換
では主要トピックとし
て、広域化、未普及対策、
老朽化対策、災害対策、
ストックマネジメント、
人材の確保・育成、PP
P/PFI、省エネ・創
エネ、不明水対策、受注
者への配慮等を挙げ、各
自治体での取組み事例を
共有した。